



令和の時代の高等専門学校の設置検討への支援

- Society 5.0 を見据えた工業系の高度人材を育成する高等専門学校は、日本の産業の競争力強化のために重要であり、地方における設置検討への支援を図られたい。

【提案・要望先】 文部科学省、経済産業省

1. 提案・要望内容

(1) 令和の時代の高等専門学校の設置検討に係る支援

- 技術動向や教員確保、学科・カリキュラム設定等に関する専門的な助言など、令和の時代の高等専門学校の設置に向けた検討の支援
- 地方における高等専門学校の設置を図る財政支援

(2) 技術者への憧れを育む機会やキャリアパスの充実

- 幼少期から段階に応じて科学技術・工業技術への関心を高める機会の充実
- 高等専門学校卒業生の更なる活躍や処遇の改善に向けた産業界への働きかけ

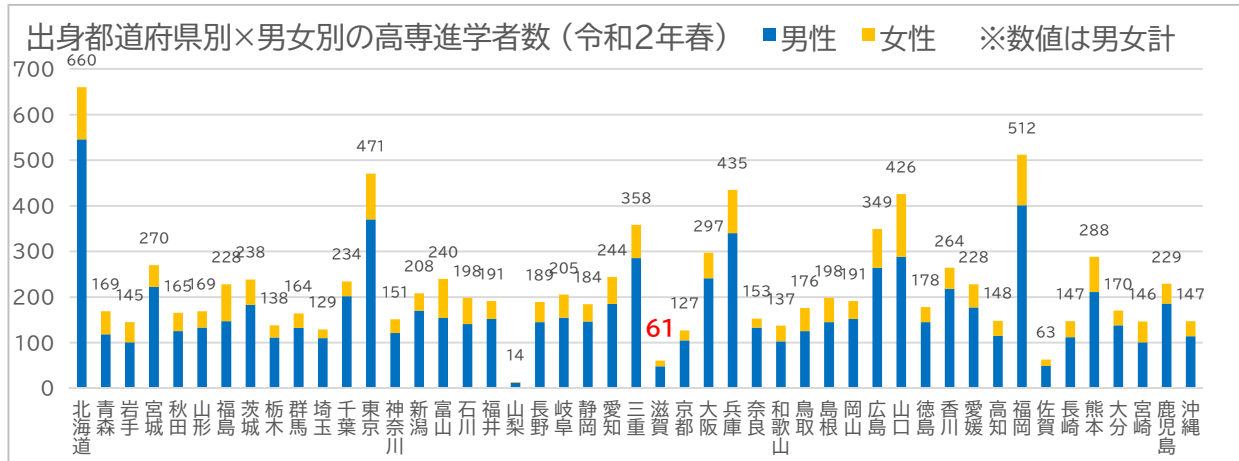
2. 提案・要望の理由

- 日本が将来にわたり競争力のある力強い産業を創出し、今後も持続的に発展していくためには、多様な学びの選択肢により若者の技術者への夢を育むとともに、地域や世界の社会的課題を解決する起業家・イノベーター、AIやデータを活用することができる実践型人材など、高度人材の育成が不可欠である。
- 中でも、高等専門学校の実践を伴った技術教育は、既に企業からも高く評価されているが、Society5.0の実現やDXを含め、日本の産業競争力の再強化を図る令和の時代にこそ、新たなカリキュラム設計とともに更なる価値が見出されると考える。
- このため、第二次産業の割合が47%を超える全国有数の内陸工業県である本県の特性を生かし、20年先を見据えた未来のものづくりを志すとともに、新たな技術を地域に実装し、地域の持続可能な豊さに貢献できる人材を滋賀から生み出すべく、令和の時代の高等専門学校の設置に向けた検討を行っているところ。産業界とともに、技術者への憧れを育む機会の提供やキャリアパスについても併せて検討する。

(本県の状況と課題)

【都道府県別の高専進学者】

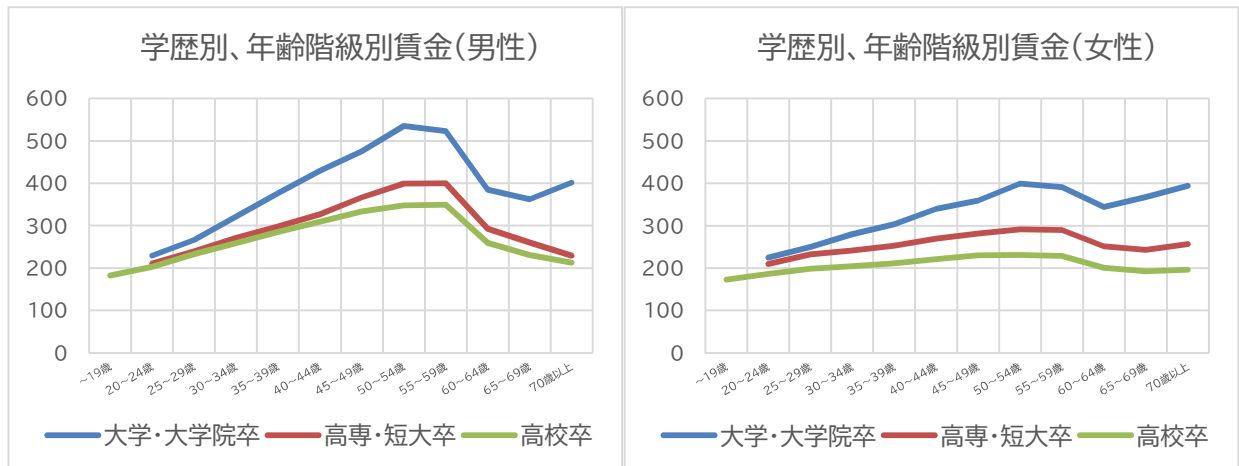
- 本県からは例年 60 名程度が県外の高専へ進学している。「新たな学びの選択肢」となる高専を設けることで、技術者をめざす若者の更なる増加を図りたい。



資料:文部科学省「令和2年度学校基本調査」

【技術者のキャリアパス・イメージに関する現状】

- 本県では、「しが学校支援センター」を通じた産業界との連携や、滋賀県職業能力開発協会とともに体験会などを行っているが、技術者への憧れを育む更なる取組が必要。
- 「高専・短大卒」は「大学・大学院卒」より低賃金とのイメージも見受けられる。



資料:厚生労働省「令和2年賃金構造基本統計調査」

【本県の取組およびスケジュール】

- 今後、構想策定に向けて、外部有識者懇話会や庁内検討会での検討を進める。

令和2年度	令和3年度		令和4年度
	庁内検討会		
中間 まとめ	外部有識者による懇話会		構想 策定
・情報収集、課題整理	・ニーズ調査(入学者、採用側) ・事例調査、関係機関調整	・学科・規模等の検討 ・事業シミュレーション	・場所の選定 ・教員の確保

- 早期に結論を出していくためには、国の財政的・技術的支援が必要。

担当:総合企画部企画調整課企画第三係 TEL:077-528-3319